

特集記事「国と地方の連携」

第 48 回公害紛争処理連絡協議会から

公害等調整委員会では、公害紛争処理制度の円滑な運営を図るため、都道府県公害審査会会長等との情報・意見交換等の場として、「公害紛争処理連絡協議会」を毎年開催しています。今年度は、平成 30 年 6 月 7 日に、各都道府県公害審査会会長をはじめ 88 名の参加を得て、「第 48 回公害紛争処理連絡協議会」を中央合同庁舎第 4 号館 220 会議室で開催しました。

荒井勉 公害等調整委員会委員長より挨拶の後、川淵幹児 公害等調整委員会事務局長による「概況報告」、尾崎真美子 消費者庁消費者安全課事故調査室長による「家庭用コージェネレーションシステム等に関する事故等原因調査報告書について」の講演、齋藤清二 立命館大学総合心理学部特別招聘教授による「物語と対話に基づく紛争処理の解決」の講演をいただきました。

都道府県公害審査会からは、福原哲晃 大阪府公害審査会長及び針原祥次 同審査会委員による「大阪府における公害紛争処理制度市町村研修会」の報告がありました。また、針原委員からは、「家庭用燃料電池コージェネレーションシステム事案の調停成立の報告」として、近隣の家庭用燃料電池コージェネレーションシステムによる低周波音の事案を題材に、当事者双方が持っている紛争解決の意欲をどのように調停成立へつなげるか、その苦労や工夫についてのお話をいただきました。中野和典 福島県公害審査会委員からは、「福島県の公害紛争処理の事例」として、事業場からの騒音、粉じんによる大気汚染の事案を題材に、当事者の歩み寄りを期待して調停受託の勧告を行った経験についてのお話をいただきました。

本号では、本協議会の情報交換等の内容をご紹介しますため、荒井勉 公害等調整委員会委員長による「開会あいさつ」、福原哲晃 大阪府公害審査会長及び針原祥次 同審査会委員による「大阪府における公害紛争処理制度市町村研修会の報告」を掲載します。